

(様式2)

教科用図書調査に関する報告書

国語（書写）

観点別評価

「◎」優れている

「○」標準的

「△」やや劣る

選定の観点	選定の視点		東書	三省堂	教出	光村
学習指導要領との関連	1	学習指導要領に示されている国語科の目標達成に結び付く内容になっているか。	○	○	○	○
	2	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫がされているか。	◎	△	◎	○
	3	「知識及び技能」の習得と「思考力・判断力・表現力等」の育成をバランスよく図るための工夫がされているか。	◎	○	◎	○
	4	言語活動の定着を図るための配慮がなされているか。	○	△	○	◎
内容	1	文字を正しく整えて速く書くことができるようにするとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てよう配慮がなされているか。	◎	○	◎	◎
	2	目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くことができる工夫がなされているか。	◎	◎	◎	◎
	3	身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことができる工夫がなされているか。	◎	△	◎	◎
	4	書写で身に付けた資質・能力を、各教科等の学習で生かすことができる工夫がなされているか。	○	○	◎	◎
	5	日常生活と関連付けた内容となっているか。	◎	○	◎	○
構成・分量	1	内容の量と学習時間が適切に配当されているか。	○	○	○	○
	2	生徒の発達段階に即し、系統的、発展的に構成されているか。	○	○	○	○
表記・表現	1	表記や表現について、文書や挿絵、写真等の使用が適切であるか。	◎	○	◎	△
	2	文字の大きさ、字間、行間などは適切であるか。	○	○	○	○
	3	ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、色の使用、紙面の構成などについて、配慮されているか。	○	○	◎	○